

# 平成25年度(平成26年産)麦類作況試験生育状況(古川農試)[2月10日調査結果]

## 1. 供試品種および耕種概要

・ 供試品種

	早生	中生
六条大麦	シュンライ	ミノリムギ
小麦	あおぼの恋	シラネコムギ ゆきちから

- ・ 播種期：設定日 10月20日（25年度播種日 10月28日）
- ・ 播種量：0.9kg/a（ドリル播き，条間25cm）
- ・ 施肥：尿素燐加安777号  
(N : 0.8kg/a, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> : 0.8kg/a, K<sub>2</sub>O : 0.8kg/a)

- ・ 土づくり肥料等：粒状苦土石灰 6kg/a
- ・ 排水対策：明渠，暗渠及び弾丸暗渠2.0m間隔
- ・ ほ場条件：沖積埴壤土 転換初年目（前作水稲）

## 2. 気象概況[12月中旬～2月上旬] (表1, 図1)

- ・ 平均気温は，期間を通じて低温傾向で経過した。特に12月中旬は平年比-1.2℃，1月中旬は同-1.5℃と平年を大きく下回った。
- ・ 降水量は，12月中旬に平年比539%と多雨(雪)となり，以降も1月中～下旬を除いて多雨(雪)傾向であった。
- ・ 日照時間は，1月中～下旬は平年を上回ったが，その他の期間は平年を下回り，特に12月下旬と2月上旬は平年比50～60%程度と少照であった。

	平均気温 (°C)		積算降水量 (mm)		積算日照時間 (hr)	
	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比
12月中旬	1.3	-1.2	68.5	539%	29.8	84%
12月下旬	1.2	-0.4	21.0	143%	21.0	50%
1月上旬	-0.3	-0.7	21.0	142%	32.4	83%
1月中旬	-1.7	-1.5	0.5	4%	47.3	116%
1月下旬	-0.8	-0.4	1.0	7%	62.5	128%
2月上旬	-1.0	-0.9	19.5	163%	28.5	59%

注1) 平年差(比)はアメダス平年値との比較

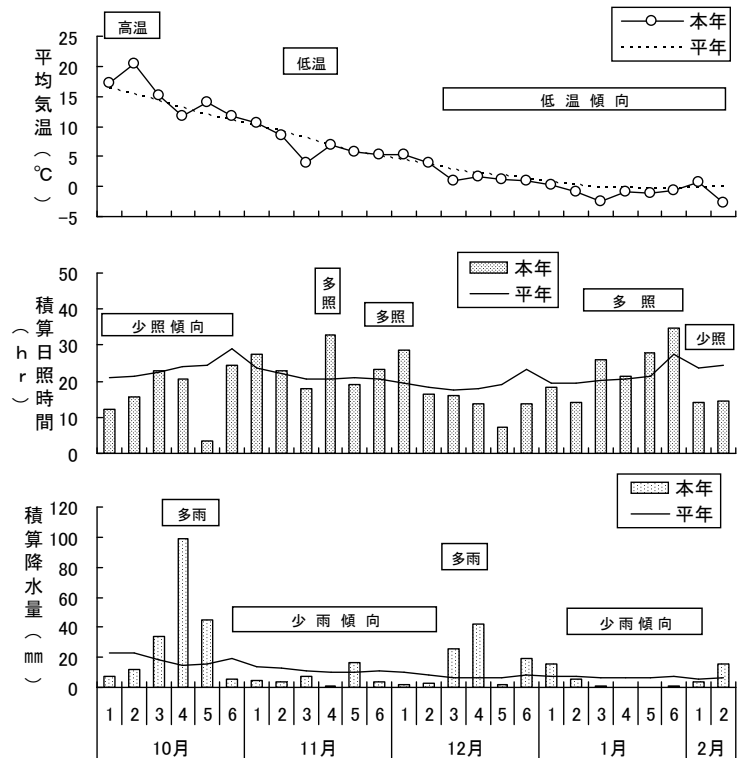


図1 半旬別気象経過(大崎市古川)

## 3. 生育概況

### 1) 2月10日現在の生育状況(表2)

- ・ 播種期前後に降雨が続いたため播種が遅れ，その後の気温も低温傾向で経過したため，草丈，茎数，葉齢とも平年を大きく下回っている。
- ・ 茎数は平年の半分以下となっており，特に小麦では越冬前の目標生育量を大きく下回っている。
- ・ 葉数は平年比-1.3～-1.9枚程度と生育が大きく遅れている。
- ・ 降雪が多く，積雪期間も例年より長い傾向だが，現時点では雪による目立った障害は認められない。

### 2) 幼穂分化状況

- ・ 大麦の幼穂長は0.6mm前後であり，幼穂形成始期には達していない。
- ・ 大麦の幼穂形成始期は平年（シュンライ：1/23，ミノリムギ：2/5）に比べて遅れている。
- ・ 小麦の各品種も幼穂の伸長は緩慢であり，早生のあおぼの恋でも0.3mm程度となっている。

表2 麦類生育状況(2月10日現在)

品種	草丈			茎数			葉数		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (枚)	前年差 (枚)	平年差 (枚)
シュンライ	7.2	80	64	451	69	50	3.6	-0.8	-1.6
ミノリムギ	8.0	75	64	456	62	50	3.8	-0.8	-1.7
あおばの恋	9.5	95	—	208	49	—	3.6	-0.9	—
シラネコムギ	9.7	82	76	371	82	44	4.2	-0.2	-1.3
ゆきちから	8.5	71	71	217	49	26	3.7	-1.4	-1.9

品種	幼穂長			幼穂分化 程度	幼穂形成始期 (月/日)	
	本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)		本年	平年
	シュンライ	0.61	-0.36		-0.68	VI~VII前
ミノリムギ	0.57	-0.28	-0.50	VI~VII前	—	2/5
あおばの恋	0.32	-0.31	—	V未満~V	—	—
シラネコムギ	0.29	-0.04	-0.05	V未満~V	—	3/15
ゆきちから	0.26	-0.09	-0.09	V未満~V	—	3/19

※越冬前目標生育量:葉齢4~5枚,  
分けつ1~2本, 茎数400~500本/m<sup>2</sup>

注1) 平年比(差)は過去5カ年の平均値との比較。 2) あおばの恋は平成22年度から供試のため平年値はない。  
3) 幼穂形成始期: 幼穂長1mmに達した日。 4) 幼穂分化程度: V期未満は省略した。

[参考] 麦類の幼穂分化程度と幼穂長(mm)

品種	苞分化期	小穂分化期				穎花分化期	
	V	VI	VII	VIII	IX	X	
小麦(シラネコムギ等)	0.5	0.5~0.6	0.6~1.0	1.0~1.2	1.2~4.0	4.0~5.0	
大麦(シュンライ等)	0.5	0.5~0.7	0.7~1.5	1.5~2.0	2.0~4.0	4.0~5.0	

注) 幼穂分化程度はI~Xの10期に区分されるが, V期以前は外部形態による判定が困難であるため, 省略した。  
また, 厳密にはVII期は前・後期に, IX期は前・中・後期に区分される。

## 平成25年度麦類生育調査ほ生育状況〔2月10日調査結果〕

表3 耕種概要

担当普及 センター	品種名	実施場所	畑転換 年数	排水対策 (明渠、暗渠等)	播種期 (月/日)	播種量 (kg/a)	播種様式	条間 (cm)
大河原	シュンライ	大河原町	15	暗渠	11/12	1.0	ドリル播き	29.0
	ミノリムギ	大河原町	15	暗渠	11/15	1.0	ドリル播き	29.5
仙台	シュンライ	大和町	12	明渠、暗渠、弾丸暗渠	10/20	1.0	ドリル播き	27.8
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	3	明渠、暗渠	11/9	1.0	ドリル播き	12.5
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	1	明渠、弾丸暗渠	11/7	1.5	ドリル播き	20.3
	ゆきちから	涌谷町	1	明渠、弾丸暗渠	11/6	1.3	ドリル播き	24.4
登米	あおばの恋	登米市豊里町	7	暗渠	11/13	1.4	ドリル播き	20.0
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	1	明渠、暗渠、弾丸暗渠	10/29	1.0	ドリル播き	26.0
	ミノリムギ	石巻市桃生町	1	明渠、暗渠	10/30	1.0	ドリル播き	30.0
	シラネコムギ	石巻市小船越	10年以上	なし	10/10	0.8	ドリル播き	22.5

表4 生育状況(2月10日現在)

担当普及 センター	品種名	実施場所	播種期 (月/日)	出芽 良否	草丈			茎数			幼穂長 (mm)
					本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	
大河原	シュンライ	大河原町	11/12	良	7.0	106	85	186	59	41	—
	ミノリムギ	大河原町	11/15	良	5.9	92	73	244	107	52	—
仙台	シュンライ	大和町	10/20	良	11.3	—	—	687	—	—	1.1
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	11/9	やや不良	8.6	57	69	124	11	13	0.0
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	11/7	良	7.4	148	87	342	111	69	—
	ゆきちから	涌谷町	11/6	良	6.2	66	69	307	120	99	—
登米	あおぼの恋	登米市豊里町	11/13	やや不良	5.2	44	—	123	43	—	—
石巻	シュンライ	石巻市桃生町	10/29	良	8.9	86	82	242	45	31	0.6
	ミノリムギ	石巻市桃生町	10/30	良	9.5	82	87	247	62	38	0.6
	シラネコムギ	石巻市小船越	10/10	良	13.1	90	83	1098	100	80	0.6

注1) 出芽良否は達観で判断(良, 中, 不良の3段階を基本とする)。

2) 平年比は過去5カ年の平均値との比較。

3) 登米「あおぼの恋」は平成21年から供試のため平年値はない。

4) 仙台「シュンライ」は平成25年度から調査地点が変更となったため, 前年値及び平年値はない。

## 担当普及センターのコメント

### 1) 大河原

- ・生育は良好だが, 低温少雨により出芽に時間がかかった影響から, 草丈, 茎数は平年より少なく推移している。
- ・調査時のほ場は10~20cm程度の積雪があり, 雪を掘っての調査となった。

### 2) 仙台

- ・調査した部分で凍害及び雪害がみられた。
- ・草丈は停滞気味だが, 茎数は増加傾向にあり, 生育は順調である。
- ・スズメノテッポウ(2, 3葉期)の発生がみられた。
- ・2月8日の大雪による積雪は30cm程度であった。

### 3) 大崎

- ・草丈, 茎数とも12月15日調査とほぼ同じで, 生育は停滞している。
- ・2月10日調査では3葉期で分けつ及び幼穂長は確認できなかった。
- ・2月8日~9日の降雪でほ場の積雪は約50cmあった。

### 4) 美里

- ・シラネコムギの葉数は約3葉で, 生育の早いものでは4葉目が抽出中である。
- ・ゆきちからの葉数は約3葉である。
- ・両品種とも低温と降雪の影響により, 葉先の枯れ上がりがみられるが, 分けつが確認できるものもあり, 生育は順調に進んでいる。
- ・シラネコムギのほ場には数cm, ゆきちからのほ場には約15cmの積雪があった。

### 5) 登米

- ・調査時はほ場に積雪があったため, 茎数は分けつ本数調査からの計算値である。
- ・播種日が遅いためか草丈は低く, 茎数は少ない。
- ・調査ほ場以外の周辺ほ場では分けつが進んでおり, 白鳥等の食害も確認される。
- ・管内のあおぼの恋, シラネコムギでは幼穂が確認された。

### 6) 石巻

- ・大麦の分けつは1株当たり2~3本で, 茎数は平年の3~4割程度となっている。
- ・大麦の幼穂長は短く, 生育ステージが遅れている。
- ・シラネコムギは, 12/15調査時点では草丈, 茎数ともに概ね平年並だったが, 今回の調査では平年の8割程度となっている。
- ・シラネコムギの幼穂長は概ね平年並となっている。
- ・ミノリムギとシラネコムギでは, 白鳥やガンによる食害が見受けられる。